



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月7日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東
コード番号 2670 URL <https://www.abc-mart.co.jp/ir/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 服部 喜一郎
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 石井 寧大（TEL）0334765452
半期報告書提出予定日 2026年10月8日 配当支払開始予定日 2026年11月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	202,298	6.4	36,131	7.4	37,971	5.7	25,931	6.6
2026年2月期中間期	190,132	0.9	33,644	△1.2	35,924	2.3	24,336	0.8

（注）包括利益 2027年2月期中間期 25,385百万円（13.2%） 2026年2月期中間期 22,420百万円（△24.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	104.73	—
2026年2月期中間期	98.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	475,639	416,481	86.9
2026年2月期	455,202	401,000	87.5

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 413,459百万円 2026年2月期 398,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2027年2月期	—	40.00			
2027年2月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	403,000	6.4	67,200	6.2	69,800	3.9	47,700	2.9	192.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社（社名） 、 除外 社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2027年2月期中間期	247,618,938株	2026年2月期	247,618,938株
2027年2月期中間期	2,318株	2026年2月期	2,318株
2027年2月期中間期	247,616,620株	2026年2月期中間期	247,616,653株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年3月1日から2026年8月31日まで)における事業環境は、個人所得・雇用環境の改善やインバウンド需要の増加により、国内需要は緩やかに増加しました。一方で、貿易摩擦や中東情勢等による地政学リスクの長期化やエネルギー価格・原材料価格の上昇に伴う物価の高騰により、先行き不透明な状況が続いております。

シューズ業界におきましては、世界的な健康志向の高まりからランニングやウォーキング需要が増加しており、またスポーツシューズとスポーツウェアをファッションに取り入れる動きが拡大しております。手を使わなくても履けるハンズフリー市場においては、ハンズフリーのサンダルやブーツへ商品の多角化が進み、付加価値の高い商品の需要が急速に拡大しました。

このような状況下、当社グループは、グランドステージと複合業態店舗の拡大、デジタルインフラの活用、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。

店舗展開につきましては、当中間期は国内外合わせて23店舗の新規出店をいたしました。このほか、6月に韓国子会社のABC-MART KOREAが、韓国の流通小売大手の株式会社イーランドワールドから靴小売店「FOLDER」を譲り受けたことから16店舗増加しました。これにより、当中間期末における当社グループの店舗数は1,522店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、連結売上高は前年同期比6.4%増の2,022億98百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期比7.4%増の361億31百万円、経常利益は前年同期比5.7%増の379億71百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比6.6%増の259億31百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 国内

販売戦略につきましては、著名なアーティストを起用した宣伝を強化し、ナショナルブランドの新作シューズとアパレルの販売を強化してまいりました。商品展開においては、ランニングやウォーキングシューズ、ハンズフリーシューズ、各種サンダル、その他インバウンド向け商品などを強化してまいりました。

店舗展開につきましては、地方郊外のショッピングセンターを中心に16店舗の新規出店、9店舗の閉店を行い、当中間期末における店舗数は1,114店舗となりました。スポーツアパレルの拡充のため、大型商業施設やショッピングセンターを中心に「ABC-MART GRAND STAGE」と「ABC-MART SPORTS」の出店を進めてまいりました。当中間連結会計期間は「OSHMAN'S」の出店を強化しております。6月にランニングとフィットネスに特化した新業態

「OSHMAN'S RUN & FITNESS」の旗艦店を京都にオープンいたしました。スポーツや体を動かすことが好きな人たちが集まるコミュニティの提供を目指し、地域密着型の店舗となっております。7月にはダイバーシティ東京プラザに2店舗目をオープンいたしました。

既存店につきましては、34店舗の改装を実施し、このうち、増床改装は22店舗、業態変更は21店舗、2バナー以上の複合業態への転換は新店を含め16店舗となりました。当中間期末時点で「ABC-MART GRAND STAGE」は144店舗、「ABC-MART SPORTS」は126店舗、「OSHMAN'S」は新業態を含め26店舗、「OSHMAN'S」との共同出店を含めた複合業態店舗は170店舗となりました。

当中間期の国内店舗の売上高増収率につきましては、円安の進行によりインバウンド売上が好調だったことから、既存店は前年同期比4.5%増、全店は前年同期比4.8%増となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比4.8%増の1,463億42百万円、セグメント利益は前年同期比5.0%増の318億75百万円となりました。

ロ. 海外

海外の店舗展開につきましては、韓国で7店舗の新規出店をいたしました。また、当社グループの傘下に靴小売店「FOLDER」16店舗が新たに加わりました。当中間期末(2026年6月30日現在)の海外店舗数は、韓国332店舗、台湾63店舗、米国7店舗、ベトナム4店舗、フィリピン2店舗、計408店舗となりました。(閉店 韓国11・台湾1・ベトナム1)

海外の業績につきましては、前年同期と比べ、為替がいずれの通貨に対しても円安に進行しました。韓国につきましてはインバウンド需要が好調だったことから、売上高は前年同期比11.3%増の375億19百万円となりまし

た。台湾につきましても同様で、売上高は前年同期比14.9%増の68億66百万円となりました。主にレザーシューズの製造販売を行っている米国につきましても、9円円安だったことから、前年同期比5.4%増の136億47百万円となりました。ベトナムとフィリピンにつきましてもは連結業績へ与える影響は軽微であります。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比10.8%増の586億92百万円、セグメント利益は前年同期比31.5%増の42億99百万円となりました。

品目別販売実績

品目別	前中間連結会計期間 (百万円)	当中間連結会計期間 (百万円)	前年同期比(%)
スポーツ	107,335	112,959	5.2
レザーカジュアル	22,097	23,847	7.9
キッズ	16,121	17,812	10.5
サンダル	14,841	14,623	△1.5
レディース	8,507	8,109	△4.7
ビジネス	4,669	4,523	△3.1
ウェアその他	13,075	16,937	29.5
その他	3,484	3,484	0.0
売上高合計	190,132	202,298	6.4

(注) 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ176億54百万円増加し、3,625億2百万円となりました。主な要因は、店舗売上の増加による現金及び預金の増加45億1百万円及び仕入の増加による棚卸資産の増加101億29百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億81百万円増加し、1,131億36百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ49億55百万円増加し、591億57百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務の増加11億66百万円及び未払法人税等の増加17億56百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ154億81百万円増加し、4,164億81百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加160億27百万円及び為替換算調整勘定の減少14億43百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ49億70百万円増加し、2,121億44百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金収支は、219億97百万円の収入（前年同期比7億95百万円の収入増）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益377億22百万円、減価償却費33億88百万円、仕入債務の増加額18億59百万円、売上債権の増加額18億38百万円、棚卸資産の増加額89億85百万円及び法人税等の支払額101億17百万円等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金収支は、83億69百万円の支出（前年同期比9億16百万円の支出減）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出36億84百万円及び事業譲受による支出40億8百万円等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金収支は、93億58百万円の支出（前年同期比19百万円の支出増）となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出98億98百万円等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下半期につきましては、物価の上昇や円安を背景に、企業収益や個人所得の増加、インバウンドの増加が継続するものと考え、引き続き客単価の上昇による売上の拡大を予想しますが、物価の上昇に伴う消費マインドの低下や、国内の免税制度が11月からリファウンド方式に変更となることによる影響も考えられます。

下半期の販売戦略につきましては、様々なお客様のニーズに対応し、店舗業態を軸とした商品戦略を実施してまいります。健康志向の高まりから需要が拡大しているランニングシューズ、好調なアパレル、ハンズフリー、注力カテゴリーのメンズレザーを展開してまいります。

店舗展開につきましては、国内では下半期に16店舗の新規出店を予定しており、通期で32店舗の出店を見込みます。このうち、「OSHMAN'S」の新規出店は新業態の「OSHMAN'S RUN & FITNESS」2店舗を含め通期で7店舗となります。また施設の閉館や業態変更により通期で25店舗の閉店を予定しております。既存店につきましては、年間50店舗の改装計画に基づき、好立地への移転、増床改装等、既存店のブラッシュアップを進めてまいります。引き続き有力な商業施設において売場面積の拡大を図り、「ABC-MART GRAND STAGE」「ABC-MART」「BILLY'S」「OSHMAN'S」の4業態を主軸とした複数バナーでの出店を拡大してまいります。

これらのことを踏まえ、国内店舗売上高につきましては、下半期は期初計画を据え置くこととし、既存店が前期比2.9%増、全店が前期比4.2%増、通期につきましては、既存店が前期比2.6%増、全店が前期比3.7%増を見込みます。

海外事業につきましては、下半期に韓国に21店舗、台湾に4店舗、ベトナムに2店舗、フィリピンに3店舗、合計30店舗の新規出店を予定しており、通期で新店は37店舗となる見通しであります。加えて、韓国において7月に靴小売店「FOLDER」8店舗の運営を開始したことから「FOLDER」24店舗とEコマース事業の譲受が完了しております。

以上のことから、通期の連結業績予想につきましては、上半期の期初計画の上振れ分を上方修正することといたしました。連結売上高は前期比6.4%増の4,030億円、営業利益は前期比6.2%増の672億円、経常利益は前期比3.9%増の698億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2.9%増の477億円を見込んでおります。

(ご参考)

①連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	400,800	65,600	67,400	46,400	187.39
今回修正予想	403,000	67,200	69,800	47,700	192.64
増減額	+2,200	+1,600	+2,400	+1,300	+5.25
前期実績	378,624	63,287	67,156	46,346	187.17

②個別通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	272,700	57,900	60,100	41,000	165.58
今回修正予想	274,200	58,900	61,700	41,700	168.41
増減額	+1,500	+1,000	+1,600	+700	+2.83
前期実績	264,012	56,001	59,743	41,261	166.64
当中間期 累計期間実績	140,748	31,558	33,260	22,457	90.69

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,725	205,227
受取手形及び売掛金	16,686	19,139
有価証券	14,395	14,940
棚卸資産	106,562	116,691
その他	6,610	6,630
貸倒引当金	△133	△127
流動資産合計	344,847	362,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,720	53,197
減価償却累計額	△25,895	△26,697
建物及び構築物 (純額)	25,824	26,499
工具、器具及び備品	27,730	28,895
減価償却累計額	△21,895	△22,607
工具、器具及び備品 (純額)	5,835	6,287
土地	23,098	22,996
建設仮勘定	1,208	1,338
その他	364	367
減価償却累計額	△316	△323
その他 (純額)	48	43
有形固定資産合計	56,015	57,164
無形固定資産		
商標権	0	—
ソフトウェア	2,803	2,330
のれん	63	1,545
その他	457	638
無形固定資産合計	3,324	4,515
投資その他の資産		
投資有価証券	20,114	20,959
関係会社株式	1,221	1,221
長期貸付金	68	58
敷金及び保証金	27,014	27,059
退職給付に係る資産	385	330
繰延税金資産	1,674	1,289
その他	554	556
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	51,014	51,457
固定資産合計	110,354	113,136
資産合計	455,202	475,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,233	16,368
電子記録債務	9,416	10,448
短期借入金	1,222	1,762
未払法人税等	10,856	12,612
契約負債	1,063	1,132
賞与引当金	1,303	1,194
その他の引当金	315	240
資産除去債務	111	145
設備関係支払手形	312	—
設備関係電子記録債務	444	1,257
その他	11,060	11,665
流動負債合計	52,341	56,827
固定負債		
退職給付に係る負債	9	350
資産除去債務	755	767
その他	1,096	1,212
固定負債合計	1,860	2,329
負債合計	54,201	59,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,114	24,114
利益剰余金	326,373	342,400
自己株式	△4	△4
株主資本合計	370,456	386,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,131	7,928
為替換算調整勘定	20,490	19,047
その他の包括利益累計額合計	27,622	26,975
非支配株主持分	2,921	3,022
純資産合計	401,000	416,481
負債純資産合計	455,202	475,639

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	190,132	202,298
売上原価	92,453	99,390
売上総利益	97,679	102,908
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,147	2,204
広告宣伝費	3,412	3,558
保管費	1,310	1,332
役員報酬及び給料手当	17,353	17,993
賞与	613	629
賞与引当金繰入額	1,274	1,196
退職給付費用	485	564
法定福利及び厚生費	2,731	2,774
地代家賃	18,396	19,254
減価償却費	2,919	3,214
水道光熱費	1,397	1,408
支払手数料	5,533	5,990
租税公課	1,134	1,173
のれん償却額	31	53
その他	5,295	5,428
販売費及び一般管理費合計	64,035	66,777
営業利益	33,644	36,131
営業外収益		
受取利息	566	651
受取配当金	204	406
為替差益	—	165
有価証券売却益	1,176	—
賃貸収入	481	456
広告媒体収入	17	17
その他	286	452
営業外収益合計	2,732	2,148
営業外費用		
支払利息	18	19
為替差損	129	—
賃貸費用	257	256
その他	45	32
営業外費用合計	451	308
経常利益	35,924	37,971

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	8	1
その他	8	—
特別利益合計	16	1
特別損失		
固定資産除却損	122	137
減損損失	240	111
その他	8	0
特別損失合計	370	249
税金等調整前中間純利益	35,570	37,722
法人税、住民税及び事業税	11,220	11,686
法人税等調整額	△110	70
法人税等合計	11,110	11,757
中間純利益	24,459	25,965
非支配株主に帰属する中間純利益	123	33
親会社株主に帰属する中間純利益	24,336	25,931

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	24,459	25,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	796
為替換算調整勘定	△2,287	△1,376
その他の包括利益合計	△2,039	△579
中間包括利益	22,420	25,385
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	22,249	25,284
非支配株主に係る中間包括利益	170	101

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	35,570	37,722
減価償却費	3,096	3,388
賞与引当金の増減額 (△は減少)	59	△109
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△7
受取利息及び受取配当金	△770	△1,057
支払利息	18	19
為替差損益 (△は益)	44	△277
有価証券売却損益 (△は益)	△1,176	—
固定資産除売却損益 (△は益)	120	136
減損損失	240	111
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,635	△1,838
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,547	△8,985
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,044	1,859
その他	366	353
小計	30,432	31,315
利息及び配当金の受取額	604	818
利息の支払額	△18	△19
法人税等の支払額	△9,816	△10,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,201	21,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,413	△714
定期預金の払戻による収入	1,002	358
有形固定資産の取得による支出	△9,003	△3,684
有形固定資産の売却による収入	11	1
無形固定資産の取得による支出	△363	△348
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,389	—
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	3,871	33
店舗撤去に伴う支出	△171	△120
事業譲受による支出	—	△4,008
貸付けによる支出	△200	△220
貸付金の回収による収入	232	223
敷金及び保証金の差入による支出	△471	△473
敷金及び保証金の回収による収入	727	618
その他の支出	△131	△58
その他の収入	13	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,285	△8,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△182	539
配当金の支払額	△9,156	△9,898
その他の支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,339	△9,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△805	701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,771	4,970
現金及び現金同等物の期首残高	197,600	207,174
現金及び現金同等物の中間期末残高	199,371	212,144

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	139,145	50,987	190,132	—	190,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	545	1,961	2,506	△2,506	—
計	139,691	52,948	192,639	△2,506	190,132
セグメント利益	30,361	3,269	33,630	13	33,644

(注) 1 セグメント利益の調整額13百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	145,776	56,522	202,298	—	202,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	565	2,169	2,735	△2,735	—
計	146,342	58,692	205,034	△2,735	202,298
セグメント利益	31,875	4,299	36,174	△43	36,131

(注) 1 セグメント利益の調整額△43百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。